

AI自動販売機

冷凍タイプを展開

25年度に売上高1億円へ

高千穂交易(株)(東京都新宿区)は、AI自動販売機「PickShop」において、冷凍タイプの販売を開始した。商業施設のイー

トインスペース、ビジネスホテルの自販機コーナー、オフィスでの社食販売などを想定し、2024年度に4000万円、25年度に1億円の売り上げを目指す。

PickShopは、利用者が手に取った商品をAIで識別して、キャッシュレスで決済する自動販売

機。商業施設やビジネスホテル、オフィスなどでの利用を想定し、省人化や収益拡大、企業の健康経営の推進を支援している。

近年、冷凍食品の需要が高まり、人手不足も問題になっていくことから、冷凍自販機や冷凍食品を販売する無人店の増加などもあり、今回PickShopの冷凍タイプを発売した。

AI自動販売機「PickShop」

PickShopは「ショーケース内の棚の高さを自由に変更できる」「ショーケースの前面がガラス扉」

「キャッシュレス決済」「クラウド上で、リアルタイムで売り上げデータの確認や在庫管理などの運用管理が可能」などの特徴を持ち、販売商品の大きさやデザインの自由度が高く、商品の補充や回収が簡単にできるほか、購入前に実際の商品を目で見て、安心して購入できる。

